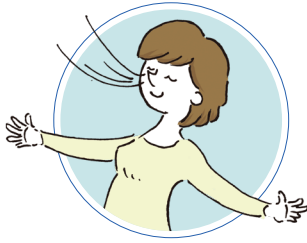


定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

フルチカゾン
フランカルボン酸エステル
点鼻液27.5 μ g
「武田テバ」56・120噴霧用

を処方された患者さんへ



製剤パッケージ

医療機関名

アレルギー性鼻炎とは？

アレルギー性鼻炎は、からだの免疫の過剰反応であるアレルギーにより鼻粘膜に炎症が起きる病気です。原因物質（抗原）の種類により、通年性アレルギー性鼻炎と季節性アレルギー性鼻炎（花粉症）に分類されています。

アレルギー性鼻炎の分類

通年性

アレルギー性鼻炎

- 〈抗原〉ダニやハウスダスト。ガ、ゴキブリなどの昆虫、ペットの毛、フケなどが含まれます。
- 〈時期〉抗原があれば、症状も1年中続きます。

季節性

アレルギー性鼻炎

- 〈抗原〉スギ、ヒノキ、ブタクサなど。
- 〈時期〉それぞれの抗原となる花粉が飛ぶ季節に生じます。（7ページ参照）



アレルギー性鼻炎の症状

アレルギー性鼻炎の3大症状は、くしゃみ、鼻みず（水様性）、鼻づまり、です。花粉症ではこの3症状に加え、眼の症状（かゆみ、なみだ、充血など）などが現れることが多くなっています。

人によって症状の現れ方は異なります。また、繰り返し抗原に接することで抗原に対する過敏性が高まり、症状が強く、長く続くようになり、つらい症状が慢性化してしまうことがあります。

鼻みず (水様性)



くしゃみ



鼻づまり



症状の悪化を防ぐ日常生活の工夫

からだに入る抗原の量を減らすことが症状の悪化を防ぐことにつながります。患者さんにしかできない日常生活の工夫が、治療を進める上での重要なポイントです。

ハウスダスト(室内ダニ)の除去

- 室内の掃除は、掃除機をゆっくり動かし、1畳あたり30秒以上の時間をかけ、週に2回以上掃除しましょう。
- 布張りのソファ、カーペット、畳はできるだけやめましょう。
- ベッドのマット、ふとん、枕にダニを通さないカバーをかけましょう。
- 部屋の湿度を45%程度、室温を20~25℃に保つよう努力しましょう。
- 室内・寝具などは、清潔がいちばんです。



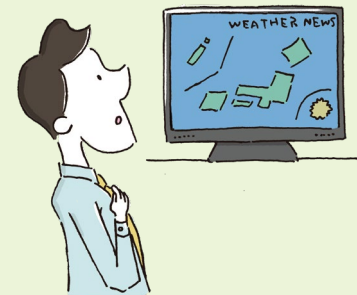
ペット(とくにネコ)抗原の回避



- できれば飼育をやめることを検討しましょう。
- 屋外で飼い、寝室には入れないようにしましょう。
- ペットと、ペットの飼育環境を清潔に保ちましょう。
- 床のカーペットをやめ、フローリングにすることを検討しましょう。
- 通気をよくし、こまめに掃除しましょう。

スギ花粉の回避

- 花粉情報に注意するようにしましょう。
- 飛散の多い時の外出を控えましょう。
- 飛散の多い時は、換気にも気をつけ、窓・戸を閉めておきましょう。



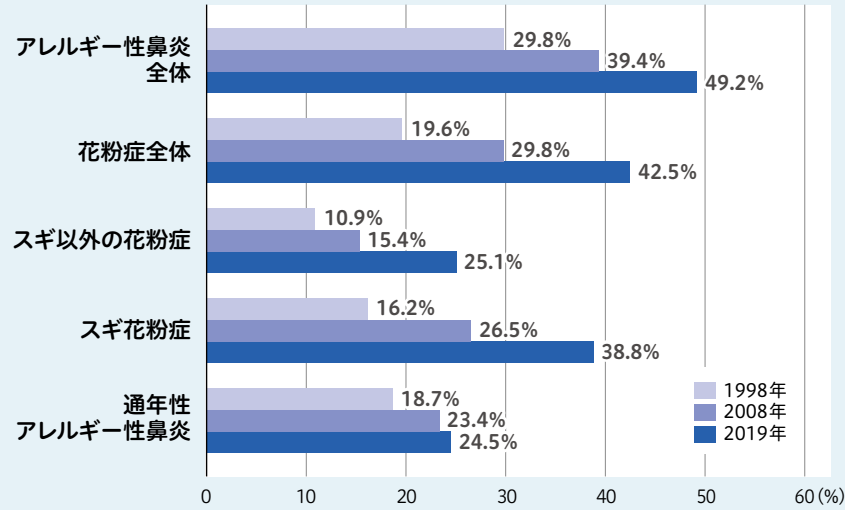
- 飛散の多い時は、外出時にマスク・メガネを着用しましょう。
- 外出時、けばだった毛織物などのコートの使用は避けましょう。
- 帰宅時、衣服や髪をよく払い入室しましょう。洗顔、うがいをし、鼻をかむようにしましょう。
- こまめに掃除しましょう。



スギ花粉症を中心に増えるアレルギー性鼻炎

近年、スギ花粉症に悩まれる方が増えていることが全国調査からも分かっています。

アレルギー性鼻炎の有病率の推移



松原篤, 他. 日耳鼻. 2020; 123: 485-490.

季節により異なる花粉の種類と飛散状況

近年増加している花粉によるアレルギー性鼻炎ですが、患者さんにより、反応する花粉の種類はさまざまです。春のスギやヒノキの花粉のほか、秋のブタクサの花粉などがよく知られ、花粉の種類や飛散量に地域差があります。

次ページの表をご参照ください。

季節性の花粉を原因とするアレルギー鼻炎では、花粉が飛散しやすい時期の対策が症状を緩和する上で大切になってきます。

花粉症の原因となる主な花粉の飛散時期

花粉名	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハンノキ属 (カバノキ科)	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												
スギ	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												
ヒノキ	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												
イネ科	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												
ブタクサ属 (キク科)	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												
ヨモギ属 (キク科)	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												
カナムグラ (アサ科)	北海道												
	東北												
	関東												
	東海												
	関西												
	九州												

各地域を代表して札幌市(北海道)、仙台市(東北)、相模原市(関東)、浜松市(東海)、和歌山市(関西)、福岡市(九州)における実際の花粉収集量(2002年~2018年までの調査)を基にした花粉飛散量の目安です。

木本の花粉飛散状況
 少ない (5.0個以下/cm³/日)
 やや多い (5.1~50.0個/cm³/日)
 多い (50.1個以上/cm³/日)
 草本の花粉飛散状況
 少ない (1.00個以下/cm³/日)
 やや多い (1.01~5.00個/cm³/日)
 多い (5.01個以上/cm³/日)

アレルギー性鼻炎の治療

診断方法

症状の状態の問診を基本に、各種の検査を通してアレルギーにより症状が出ていることを確認した上で診断が行われます。

問診

いつから症状が始まり、続いているのか、季節性などの変化があるか、ご家族にも同じような症状がないか、など症状の原因を探っていきます。

検査

●アレルギー性かどうかを調べる検査

鼻の内の状態を確認する

鼻鏡、内視鏡検査、
鼻副鼻腔X線検査 など

アレルギー反応で増える物質を測る

血液・鼻汁好酸球検査 など

●原因物質(抗原)を調べる検査

アレルギー物質への反応を確認する

皮膚テスト、血清特異的IgE検査、
鼻誘発試験 など

診断

アレルギー性鼻炎の症状を確認し、上記の各種検査により症状が他の病気ではなくアレルギーが原因であることを確認した上で、アレルギー性鼻炎の診断を行います。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会・鼻アレルギー診療ガイドライン2024年版(改訂第10版)。
金原出版, 東京, 2024. P20-P35より作成

治療方法

患者さんごとの鼻炎の症状のタイプと重症度、アレルギー反応の原因物質、希望を踏まえて治療方法を決定していきます。

抗原の
除去と回避

薬物療法

アレルギー
免疫療法

手術療法

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会・鼻アレルギー診療ガイドライン2024年版(改訂第10版)。
金原出版, 東京, 2024. P38-P75より作成

治療薬

アレルギー性鼻炎のお薬は症状のタイプと重症度に応じて使い分けされています。

症状のタイプは、アレルギー性鼻炎の3大症状をもとに、くしゃみ・鼻みずの症状が強い「くしゃみ・鼻漏型」、鼻づまりの症状が強い「鼻閉型」、すべての症状がある「充全型」に3つに分類されます。

それぞれの症状のタイプに合ったお薬を、重症度や患者さんの日常生活における困りごとなどを踏まえて選択して治療を進めていきます。

アレルギー性鼻炎の薬

くしゃみ・鼻みずの薬

主として
くしゃみ・鼻みずに
効く薬

(第1世代抗ヒスタミン薬)
第2世代抗ヒスタミン薬

鼻づまりにも、
ある程度効果がある

鼻づまりの薬

主として
鼻づまりに
効く薬

抗ロイコトリエン薬
抗プロスタグランジンD₂・
トロンボキサンA₂薬
第2世代抗ヒスタミン薬・
血管収縮薬配合剤

くしゃみ・鼻みずにも
ある程度効果がある

鼻づまりにだけ
効く薬

点鼻の血管収縮薬

作用時間が短い・
薬剤性鼻炎に注意

全般的な薬

全般的に
効く薬

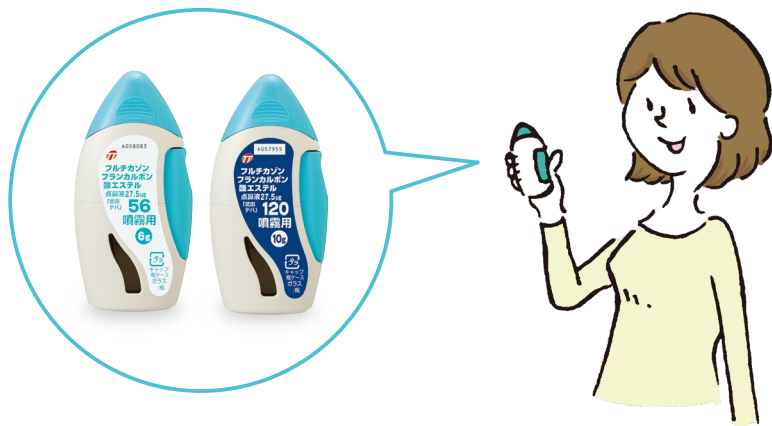
Th2 サイトカイン阻害薬
ケミカルメディエーター遊離抑制薬
鼻噴霧用ステロイド薬
経口ステロイド薬
生物学的製剤(抗体療法)

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会、大久保公裕・アレルギー性鼻炎ガイド 2021年版。
ライフ・サイエンス, 東京, 2021. P16より引用・一部改変

お薬の特徴とはたらき

フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液「武田テバ」は、アレルギー反応による鼻の炎症にはたらくお薬です。鼻噴霧用ステロイド薬というカテゴリーに分類されるお薬で、アレルギー性鼻炎による症状に的を絞った治療ができるのが特徴です。

鼻の粘膜の炎症物質を出す細胞(マスト細胞)などを少なくするはたらきがあり、くしゃみ、鼻みず、鼻づまりのどの症状にも効果を発揮します。



使用方法

成人 (15歳以上)

通常1日1回、左右の鼻の穴に2噴霧ずつ

小児 (15歳未満)

通常1日1回、左右の鼻の穴に1噴霧ずつ

本剤は2歳未満の幼児等に対する安全性が確立していません(国内における使用経験がありません)。

継続した使用で効果が期待できます

フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液「武田テバ」は、毎日継続して使用することで症状をしっかり抑えることができるため、症状のタイプや重症度にかかわらず、ご使用いただけるお薬です。

またアレルギー性鼻炎では、症状が出ていない状態でも鼻粘膜の炎症が続いている場合があります。そうした持続的な炎症により、抗原への過敏な反応が強くなり、症状が悪化してしまうこともあります。

症状が出たときだけ使用するのではなく、医師の指示どおりにお薬を使い続けることが大切です。



噴霧デバイスの使用方法と注意点

鼻の患部に直接お薬を届ける「噴霧デバイス」を使用します

鼻に噴霧するデバイスを用いて、お薬の成分を直接患部に届ける形式のお薬です。鼻の穴に容器の先端を入れ、レバーを押してお薬を噴霧します。



新しい容器を初めて使用する際のポイント

初めて使用する際は、空噴霧を行い(6回)、液が完全に霧状になったことを確認しましょう。

まずは容器をよく振ってください。

次にレバーをしっかり**6回**押してください。(空噴霧)

完全に霧状になったことを確認してから使用します。



2回目からは、この一連の操作は不要です。

ただし、5日以上容器のキャップが外れていたり30日以上使用しないと、正常に噴霧されない場合があります。その際にはこの一連の操作を行ってください。

お薬を正しく使用していただくために、次の項目もお守りください

- 使用後は、容器の先端とキャップの内部をきれいに拭き、キャップをし、容器を立てて室温で保管してください。
- 容器を傾けて噴霧しないでください。
- 容器の先端部分を針で突くことは絶対にしないでください。(先端の穴が破損し、噴霧できなくなります)
- 56回または120回噴霧後も薬液が残っています。(56回または120回を超えて噴霧すると、正常に噴霧されない場合があります。)



残量
確認用窓

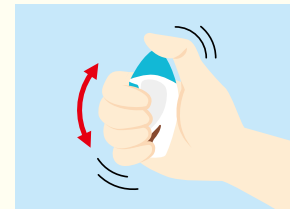
本製品の使用方法

- 1 使用前に鼻をよくかんでください。



- 2 容器を矢印の方向によく振ってください。

「よく振る」ことによりサラサラの液体になり、正しく噴霧できます。使用前には毎回、必ずよく振ってください。



- 3 水色のキャップのギザギザ部分をつまみながら、ねじらずに持ち上げてください。



- 4 頭をうつむき加減にし、容器を垂直に立てて鼻の穴に容器の先端を入れ、**レバーを最後まで強く押してください。**



成人
(15歳以上) 1日1回、
左右の鼻の穴に2噴霧ずつ

小児
(15歳未満) 1日1回、
左右の鼻の穴に1噴霧ずつ

本剤は2歳未満の幼児等に対する安全性が確立していません(国内における使用経験がありません)。

フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液 27.5 μ g「武田テバ」の使用方法については、使い方を説明した動画を用意しています。パソコン、携帯電話から動画による使用方法などもご覧いただけます。

ff.ts-pharma.com

2次元コードが読み取れない場合は、webブラウザに上記のアドレスを直接ご入力ください。



鼻噴霧用ステロイド薬の使用に関する Q&A

Q 鼻噴霧用ステロイド薬にはどのような副作用がありますか？¹⁾

A 鼻噴霧用ステロイドは鼻腔内の患部に直接用いるタイプのお薬です。そのため、全身性の副作用が出現しにくいと考えられています。副作用の多くは鼻とのどに限られた内容となっており、鼻の出血や粘膜に対する刺激感や乾燥感などが報告されています。

Q ステロイド薬を使用し続けることが不安です。¹⁾

A 鼻噴霧用ステロイドは局所的に使用するお薬であり、微量で効果が高く、体内への吸収はされづらく、吸収されてもすぐに分解される特徴があります。1年以上の使用でも全身的な副作用は少ないと報告されています。

Q 症状が酷い時は鼻噴霧用ステロイド薬の回数を増やしてもよいでしょうか？

A 鼻噴霧用ステロイド薬の1回あたり、1日あたりの使用量は医薬品の治験成績を基に厳密に決められているため、医師の指示どおりに使用してください。薬剤の効き方や使用後の体調などに不安がある場合は、ご自身で調整せず、必ず医師に相談してください。

Q 鼻噴霧用ステロイド薬は子どもにも使っても大丈夫でしょうか？²⁾

A 鼻噴霧用ステロイド薬には、幾つか子どもにも使えるものがあります。これらの薬は鼻粘膜だけに作用して、全身に影響が及ぶことはないため安全性が高いと報告されており、刺激感や匂いも少ないため、子どもでも使いやすい薬剤とされています。²⁾



1) 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会・鼻アレルギー診療ガイドライン2024年版改訂第10版)。
金原出版, 東京, 2024. P51-P52 より作成
2) 日本アレルギー学会「アレルギーポータル」HP より引用抜粋 <https://allergyportal.jp/>

お薬の中止は医師と相談してください

鼻噴霧用ステロイドを使用し、症状が落ち着いていても病気そのものが治っているとは限らないことに注意が必要です。体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると症状が悪化してしまうことがあります。

また、季節性の花粉を原因とするアレルギーの場合には、花粉の飛散量により症状が弱くなったり、強くなったりすることがあります。一時的に症状が落ち着いていても病気そのものが改善しているとは限らないため、お薬をやめてよいかどうかは自分で判断せず、かかりつけの医師と相談してください。

